

平成 31 年度 1 学期 始業式挨拶

皆さんおはようございます。新学年がスタートしました。年度が替わったとはいえ、3月31日から4月1日への時間の流れ自体に特別な変化があるわけではありません。それでも「年度」が改まれば、実に多くのことが切り替わります。特に学校においてはそうです。学年が変わりクラスが変わります。1年生は中学校から高校への入学があります。しかし、たった一日の違いで新しい何かが始まる機会は社会の制度ばかりではありません。

かつてノーベル医学生理学賞を受賞した、山中伸弥教授は受賞の翌日に「今日が始まり。研究者をめざした最初の日に戻って仕切り直したい」「研究を進めると、自然は思ってもいなかった新しい問題を問いかけてくる。答えるとまた問題が現れるので、それに答えたい」と語っておられます。

学校生活においても一日の違いで何かが始まる、何かを始める機会はあると思います。皆さんも一念を変革させることで、自らのめざす道を大きく切り拓いていってほしいと思います。新しい年度をどう過ごしていくのかは皆さん一人ひとりの決意によって決まります。お互いに磨き合いながら、今いる場所でそれぞれの立場で輝いて欲しいと思います。決して失敗を恐れることなく全てのことに意欲的に挑戦していってくださることを期待します。

平成 31 年 4 月 8 日 大阪府立春日丘高等学校長 福留 明富